

砂原秀樹 + 編集部

【アドバイザー】砂原秀樹
奈良先端科学技術大学院大学
情報科学センター助教授
WIDEプロジェクト・ボードメンバー

インターネットの

に答える



このコーナーでは、皆さんから寄せられたインターネットに関する質問や疑問にお答えします。分からないことや疑問はどんなことでもけっこうですので、編集部までお寄せください。メールアドレスは **ip-faq@impress.co.jp** です。なお、質問へのメールでの回答はできませんのでご了承ください。

今月のヘッドライン

- 1 インターネットFAX
- 2 NTTドコモの国際ローミングサービス
- 3 インターネットとの上手な付き合い方

Q

仕事の相手から、インターネットFAXの導入について相談を受けたのですが、具体的に説明することができませんでした。彼の言う「LANに設置できるインターネットFAX」とは、どんなものでしょうか？（匿名希望）

A

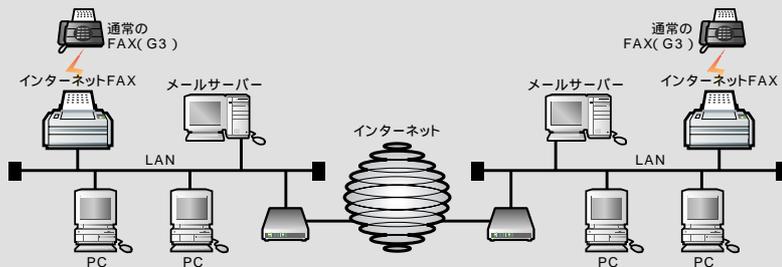
インターネットFAXとは、ファクシミリとインターネットを融合したものです。最近までインターネットFAXには複数の方式が存在していましたが、昨年、RFCとして標準化が決定し、現在は松下電送システム(株)が商品化しています。

インターネットFAXを使えば通信コストが削減できるばかりでなく、PCを扱えない人でもFAXを使って電子メールを送信したり、インターネットFAXを経由して通常のFAX(G3)とLAN上のPCの通信が可能に

なったりします。さらに、インターネットFAXはLANに接続されていますので、共有プリンターやスキャナーとしても利用できるようになるなど、これまでのLANでは実現できなかったネットワーク環境が構築できるようになることが期待されています。

このほかにも、通常のFAXの通信データをインターネットで中継して通信料金の削減を図るサービスや、ダイヤルアップでメールの送受信ができる家庭用FAX機などもあり、これらを「インターネットFAX」と呼ぶこともあります。（編集部）

インターネットFAXの接続例



（ インターネットFAX ）

Q

海外出張が多く、いつも通信環境を確保するのに苦労しています。そこで興味があるのが、NTTドコモの携帯電話国際ローミングサービス「ワールドウォーカー」です。このサービスについて教えてください。

(田原芳雄さん)

A

ホテルや空港の設備の充実により、出張中に海外でインターネットに接続できる環境はだいに整えられてきました。しかし一方で、海外滞在中は電話によるコミュニケーション手段が難しいのも事実です。実際、多くの方は、ホテルに電話をかけてフロントスタッフに取り次いでもらうなど、不便な思いをしていると思います。

一方、すでにビジネスの必須アイテムとなった感もある携帯電話ですが、これが海外でも使えたらどんなに便利だろうと思っている人も多いのではないのでしょうか。

そんなニーズに応じて登場したサービスがNTTドコモの「ワールドウォーカー」です。このサービスは、普段利用しているドコモの携帯電話の電話番号を使って、海外にいても携帯電話が利用できるものです。ただし、普段使っている電話機を海外で使うことはできず、専用の携帯電話をレンタルして使うことになります。普段の携帯電話にかかって来た電話を海外携帯電話に国際転送するというのが「ワールドウォーカー」サービスの仕組みです。

このサービスを利用するには、ドコモのデジタル携帯電話(ドニーチョ契約を除く)を利用していることに加え、国際電話会社(KDD、IDC、日本テレコム)のいずれかとの契約が必要になります。

現在、「ワールドウォーカー」が利用できるエリアは大きく次の3つに分けられています。

- ① アメリカ、カナダ(AMPS)
 - ② ヨーロッパ、韓国を除くアジア、オセアニア、アフリカ(GSM)
 - ③ 韓国
- ①のアメリカ、カナダではAMPSネット

NTTドコモの国際ローミングサービス

ワークに、②のヨーロッパ、アジア、オセアニア、アフリカではGSM方式に、③の韓国ではSKテレコムのネットワークにそれぞれ対応しています。このように通信方式がエリアによって違うため、それぞれのエリアごとに貸し出される携帯電話機や料金が異なります。このほかにも注意が必要なこととしては、前述のように事前に国際電話会社と携帯電話国際利用契約を結んでおくこと、また日本で使っている携帯電話の留守番電話や転送のサービスを停止させておくことも挙げられます。また当然のことですが、このサービスを利用している期間は、日本での携帯電話は使えなくなります。

なお、「ワールドウォーカー」サービスを利用するにあたっては、出発の2か月前から3営業日前までに申し込む必要があります。

(編集部)

申し込み・問い合わせ

ムーバレンタルセンター
TEL 0120-680-200



ドコモの国際ローミングサービス
URL http://www.nttdocomo.co.jp/products/service/keitai/guide/service/w_walker.html



下記URLでは、利用可能エリアについても詳しいデータが掲載されている。
URL <http://www.w.docomosentou.co.jp/>

「ワールドウォーカー」のエリア別料金体系

<アメリカ・カナダ>

		料金
基本料金	機器使用料	1,200円/日 または、24,000円/月
通話料金	国内発信通話	350円/分
	国際発信通話	380円/分
	着信通話	300円/分

「国内発信」は「アメリカ/カナダ アメリカ/カナダ国内への通話」を意味し、「国際発信」は「アメリカ/カナダ 日本を含む海外への通話」を指す。電話を受けた場合にも上記「着信通話」の料金が課金される。さらに、日本からの着信を含め、滞在国内での着信は、別途日本の国際電話会社から国際通話料が請求される。

<ヨーロッパ・韓国を除くアジア・オセアニア・アフリカ>

		料金
基本料金	機器使用料	1,500円/日 または、30,000円/月
通話料金	国内発信通話	150円/分
	国際発信通話	350円/分

たとえばフランスに行った場合、「国内発信」は「フランス フランス国内への通話」を意味し、「国際発信」は「フランス 日本を含む海外への通話」となる。また現地での着信は、発信元の国や地域に限らず別途国際電話会社から「日本 フランス」の国際通話料が請求される。

<韓国>

		料金
基本料金	機器使用料	1,200円/日 または、24,000円/月
通話料金	国内発信通話	50円/分
	国際発信通話	250円/分(日本へ発信) 350円/分(その他の国へ)

「国内発信」は「韓国 韓国国内への通話」を意味する。また、着信には別途国際電話会社から「日本 韓国間」の国際通話料が請求される。

Q

インターネットを始めて約1か月の入門者です。ネットサーフィンや電子メールが楽しくて、毎日かなりの時間をPCの前で過ごしています。でも、最近は「インターネット中毒」という症状に苦しむ人も増えていると聞きます。インターネットと上手に付き合うには、どのようなことに気を付けていけばいいのでしょうか？

(吉村健太郎さん)

A

うーん。難しい質問ですね。というのも、ある意味において僕自身「インターネット中毒」患者であるような気がするからです。ただ、「苦しむ」という状況ではありませんけどね :-)

実際問題として「中毒」という状況に陥った場合、1日でもウェブを見ないとか、メールを読まなかったりとかすると、世の中から取り残されてしまうのではないかとという恐怖感に脅えるということになってしまうようです。あるいは、インターネット以外の世界で、他の人間と接触することができなくなってしまうこともあるようです。このあたりのことを考えてみると、自然とその対処方法はわかってくると思います。

非常に重要なことは、インターネットは単なる道具にすぎないということです。このことはいろいろな場面で繰り返しています

インターネットとの上手な付き合い方

ね)、インターネットは便利ですけど、それがすべてではありません。インターネットに自分の生活が振り回されてしまうのではいけないわけです。「天気の良い日には、外に出て日なたぼっこ」でもしてみましょうよ。あるいは、何かスポーツでもしてみるのもよいかもかもしれません。要するに、「世界はもっと広いんだよ」ということです。

考えてみると、インターネットなんかなくなつて、死んでしまう人はいないのです。僕自身、インターネットがなければ不便にはなりますが、死んでしまうわけではありません :-) それよりもやるべきことはいっぱいあるでしょう。デートをするのもいいし、読書でもいいかもしれません。ドライブとか、楽器を演奏するとかするのでもいいかもしれません。

人間何らかの目標をもって、それを実現するためには何が必要なのかを考えるようにしていれば、「中毒」なんかになることはないはず。何かを一生懸命やることはいいことだと思いますが、何かにのめり込んでしまつて、他のことが見えなくなってしまうことはよいことではありません。

ともかく、「インターネット」に振り回され

ないように注意していればよいわけです。ただ、「インターネット」を作ってきた側の立場で言うと、こうした人間の生活を豊かにすることに対して、「インターネット」が何らかの役に立てばいいなあということなのです。道具、とくに人と人をつなぐ道具ですから、人と人との関係の中で役に立てばよいと考えています。人間は、1人で生きていくことは難しく、他の人々との関係の中で生活をしています。その人々のコミュニケーションを円滑にする道具がインターネットなのです。人間関係は「財産」の1つだと言う人もいるくらいですから、そのための道具として「インターネット」が活用されれば嬉しいですね。

恐れることはありません。主役は人間なので、それを忘れずにインターネットを「使って」いけば、「中毒」なんかになることはないでしょう。道具に振り回されることなく、何のためにインターネットを使っているのかを考えていけば、困った事態に陥ることは絶対にはないと思います。

(砂原 秀樹)

疑問・質問

大募集!!

「インターネットの?に答えるFAQ」では、皆さまからの疑問・質問を大募集しています。恥ずかしくて人には聞けないような基本的な事柄から、WWWブラウザやアプリケーションの使い方に関する疑問、気になる話題についての解説、インターネットの仕組みや将来像に関する質問など、インターネットに関することならどんなことでもOKです。回答者がわかりやすく心をこめてお答えします。

珍問・奇問も
大歓迎



宛て先は

ip-faq@impress.co.jp

質問へのメールによる回答はできませんのでご了承ください。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp